



# 学校の窓からよのなかが見える スクール・シチズンシップから考える

---

寺子屋朝日 For Teachers 無料ウェビナー



一般社団法人 **WONDER EDUCATION**

## 越智大貴（オチセン）

- 一般社団法人 WONDER EDUCATION 代表理事
- 総務省主権者教育アドバイザー

### シティズンシップ（市民）教育

（よのなか科や主権者教育）の実践・研究

- 協働と対話で、生きる力と納得解を育む
- こどもの参加する権利・意見表明の啓発

趣味：旅行（仕事で全国制覇したい！）



## 越智大貴（オチセン）

- 一般社団法人 WONDER EDUCATION 代表理事
- 総務省主権者教育アドバイザー

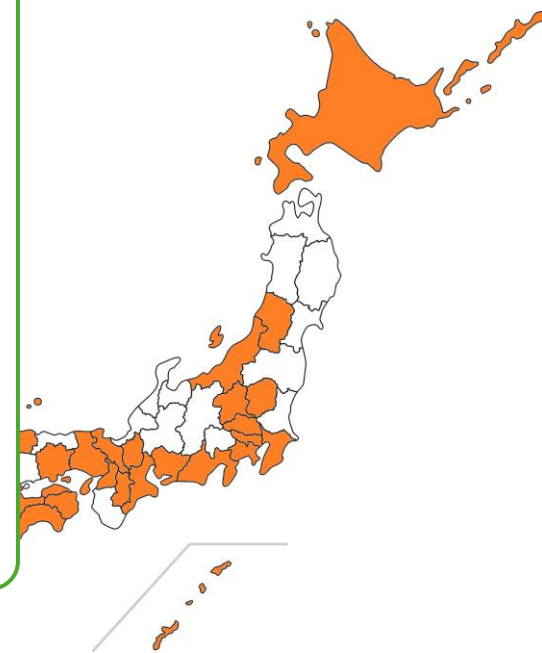
① 院生時に **よのなか科** の活動をスタート

👉 **シティズンシップ教育** を軸に置く

② 18歳選挙を機に **主権者教育** を全国展開

③ **こどもの意見** も尊重され、**社会参画** を

後押しする環境づくりに取り組む。



皆さんが考える、

# 主権者教育

とは？

越智が考える

主権者教育

とは？

① よのなかの仕組みを学びあい、みんなでつくる

「**仲間づくり**」の教育だ！

② 『なぜ勉強するのか』の答えを探し学び続ける

「**動機づくり**」の教育だ！

## ○ 課題意識について

主権者教育に取り組む外的要因と内的要因

## ○ 越智の主権者教育の取り組みについて

非営利活動の中での主権者教育について

## ○ 活動を通して感じていること

## シティズンシップとは？

## スポーツマンシップとは？

● **スポーツ** の **ルール** を遵守して

**競技** を行っていくうえでの

根本的な姿勢をいうもの

● 周囲への配慮 や 個人として正しい行い

**答えはない** ➡ 時に「変わる」ことも。



## シティズンシップとは？

- **よのなか** の **ルール** を遵守して  
**社会生活** を行っていくうえでの  
根本的な姿勢をいうもの
- 周囲への配慮 や 個人として正しい行い  
**答えはない** ➡ 時に「変わる」ことも。

## 主権者教育とは

○ 主権者教育とは、主権者たる国民が政治や社会での出来事について自分ごととして考え、主体的に行動できるようにするための教育です。

○ 主権者教育はシティズンシップ教育の根幹をなす教育とされています。

(【抜粋】 Edu Magagine , <https://edvmagazine.jp/sovereign-education/>)

答えはない → 時に「変わる」ことも。

特に、**18歳選挙**や**18歳成人**・**SDGs**の現代において、

こどもの頃から **ルール** や **社会の仕組み** との

向き合い方を学びあうことは大事。

△ “について、学ぶ”

**知る・守る**

契約・婚姻

刑法など

**創る・変える**

18歳選挙

こども基本法

**使いこなす**

裁判員裁判

知る・守るだけでなく **創る・変える・使いこなす** 力も必要に

強い意識の変化が必要なこととして、

これまで、**政治やお金について学校で学ぶ必要がなかった。**

(政治は「学ばない方が望ましかった。」)

- 昭和44年10月31日文部省初等中等教育局長通知 -

学校は、平素から**生徒の政治的活動が教育上望ましくないこ**

**とを生徒に理解させ**、政治的活動にはしることのないよう

じゅうぶん指導を行なわなければならない

(高等学校における政治的教養と政治的活動について)

**そもそも、こども・若者は、  
政治や社会をどのように捉えているのか？**

投票率の推移から見てみると…

## 参議院議員通常選挙

## 衆議院議員総選挙

ほぼ3人に2人の60代

ほぼ3人に1人の10代・20代

平成4 平成7 平成10 平成13 平成16 平成19 平成22 平成25 平成28 令和1 令和4

●60代 ●20代 ●10代

平成5 平成8 平成12 平成15 平成17 平成21 平成24 平成26 平成29 令和3

●60代 ●20代 ●10代

**若者は選挙に行かないのは、  
「政治への関心が低いから」だ !**

**若者は選挙に行かないのは、  
「政治への関心が低いから」だ ?**



## 日本の18歳で政治に関心のある割合

56.5%

## 日本の18歳で政治に関心のある割合

**56.5**  
**%**

アメリカ **61.7%**

イギリス **57.8%**

中国 **81.5%**

韓国 **65.0%**

インド **62.8%**

日本の18歳で自分の行動で国や社会を  
変えられると思う割合

**45.8**  
**%**

アメリカ **65.6%**

イギリス **56.1%**

中国 **83.7%**

韓国 **60.8%**

インド **80.6%**

## 日本の18歳の自分の国の将来が 良くなると考えている割合

**15.3**  
**%**

アメリカ **26.3%**

イギリス **24.6%**

中国 **85.0%**

韓国 **41.4%**

インド **78.3%**

## 愛媛県の高3生意識調査2022 (回答数630、WONDER EDUCATION調べ)

社会のために役立ちたいと思いますか？

89.3 (当てはまる・やや当てはまるの合計)

### 自分で国や社会を変えられると思いますか？ (25.3%)

自分で国や社会を変えられると思いますか？

25.3

家族や友人などと政治や社会問題の話をするか

46.8

自分は責任ある社会の一員だと思えますか？

72.2

今の自国の政治にどれくらい関心がありますか？

57.1

### 今の自国の政治にどれくらい関心がありますか？ (57.1%)

自分を大人だと思えますか？

50.3

0 10 20 30 40 50 60 70 80 90 100

■ 当てはまる ■ やや当てはまる ■ やや当てはまらない ■ 当てはまらない

## 18歳意識調査（自身と社会の関わりについて、2024）

	日本	アメリカ	イギリス	中国	韓国	インド
国や社会に役立つことを したいと思う	64.3	78.4	77.7	93.6	71.1	85.9
自分は責任がある 社会の一員だと思う	61.1	79.4	80.7	92.1	74.5	86.8
ボランティア活動に参加したい	60.4	76.3	68.6	89.8	70.5	79.2
慈善活動のために 寄付をしたい	58.4	78.4	79.5	87.2	66.6	84.4
自分は大人だと思う	49.6	76.6	75.8	90.0	54.8	81.7
自分の行動で、国や社会を 変えられると思う	45.8	65.6	56.1	83.7	60.8	80.6

(単位:%)

これらの意識調査からわかることとして、若者は、

# 政治や社会に関心がない

から、選挙に行かない！

## 18歳意識調査（自身と社会の関わりについて、2024）

	日本	アメリカ	イギリス	中国	韓国	インド
国や社会に役立つことをしたいと思う	64.3	78.4	77.7	93.6	71.1	85.9
自分は責任がある社会の一員だと思う	61.1	79.4	80.7	92.1	74.5	86.8
ボランティア活動に参加したい	60.4	76.3	68.6	89.8	70.5	79.2
慈善活動のために寄付をしたい	58.4	78.4	79.5	87.2	66.6	84.4
自分は大人だと思う	49.6	76.6	75.8	90.0	54.8	81.7
自分の行動で、国や社会を変えられると思う	45.8	65.6	56.1	83.7	60.8	80.6

(単位:%)

これらの意識調査からわかることとして、若者は、

**どうせ変えられない**

から、選挙に行かない！

政治に対して影響力を行使できると思える感覚

**政治的有効感覚** を育む！

**どうせ変えられない**

というマインドを変えていく！

シティズンシップ教育・主権者教育の目的



**「なんで勉強ってしないといけないの？」**

**そのモヤモヤを抱えた5年間**

中高の6年間で**愛光学園**で過ごす。

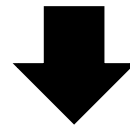
夢は**愛光の先生**

多くの友達が…  
高学歴 or 医学部

地元の  
夜間主の大学

**「なんで勉強ってしないといけないの？」**

**そのモヤモヤを抱えた5年間**

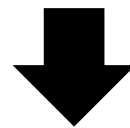


**『愛光生なんだから、**

**勉強しなさい。』**

**「なんで勉強ってしないといけないの？」**

**そのモヤモヤを抱えた5年間**

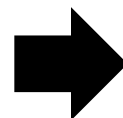


**地元の夜間主の大学** に進学したことで、

さらに拍車をかけることに…

## きっかけ①

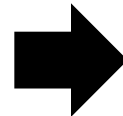
「社会の勉強を  
教えてほしい。」



“何かのため”に  
する勉強は  
本当に面白い！

## きっかけ②

「勉強って  
何をするの？」



自分は特別じゃ  
なかったという  
安心感

“何かのため”に  
する勉強は  
本当に面白い！

自分は特別じゃ  
なかったという  
安心感

「これからのよのなかと自分のつながりを  
考えられる学びが必要だ！！」

大学院へ進学することに

## 大学院へ進学することに

こどもの権利

と

よのなか科

## 大学院へ進学することに

こどもの権利

と

よのなか科

# こどもの権利条約

## NPO法人

- **こどもの基本的人権**を国際的に**保障**するために定めた条約
- こどもを**権利の主体**と位置づけ、**大人同様の**人権を認める
- ★ 成長の過程で特別な保護や配慮が必要な子どもならではの権利も定める



## 大学院へ進学することに

こどもの権利

と

よのなか科

# よのなか科

よのなかに  
答えはない

- こどもも大人も **誰でも参加**し、 **リアルなよのなか**を学ぶ。
- 自営業者からホームレスまで、様々な立場の社会人の話を聴く。

**協働**と**対話**で**納得解**を導く。

## 主権者教育

を通して実現したいこと

① 主体的に学び続ける「**動機づくり**」から

自分の将来をポジティブに考えられる人を育てたい。

② 同時に、「**仲間づくり**」を通して、

変えられないと思っている社会を創る世代を育てたい。

## ちょっとブレイク…

家族旅行に行くとしたら、誰の案に乗っかりますか??

- おじいちゃん（60歳） … 温泉旅行
- おかあさん（40歳） … ショッピングモール
- いもうと（10歳） … テーマパーク
- その他

**協働**と**対話**で**納得解**を導く。

**変わってもOK**

## 大学院へ進学することに

こどもの権利

と

よのなか科

## 教員になりました！

学校では

- 政治経済と世界史を担当。
- 受験科目ではなかったため、思い切ったオリジナルの授業を準備し、提供。

**協働**と**対話**で**納得解**を導く。

## 大学院へ進学することに

こどもの権利

と

よのなか科

## 教員になりました！

学校では

- 本物の箱を使った模擬投票
- 法曹界を巻き込んだ模擬裁判
- 社長から経営を学ぶ

**協働**と**対話**で**納得解**を導く。

## 大学院へ進学することに

こどもの権利

と

よのなか科

が…

教員になりました！

学校には、独特の文化がある

- 「生徒に人権なんてないんだよ。」と、初日に教わった。
- 生徒は「自由に意見を言う」という意味が理解できない。

## 大学院へ進学することに

こどもの権利

と

よのなか科

が…

教員になりました！

学校には、独特の文化がある

- 先生が授業の準備にかける時間の確保が難しい。
- 完全に現場任せは、あらゆる面で中立性の縛りがある。

## 大学院へ進学することに

こどもの権利

と

よのなか科

が…

教員になりました！

学校の外から学びをアップデートしていく  
環境を作りたい！

NPO法人の設立へ



## **NPO法人の設立へ**

**学校外でよのなか科の授業をはじめた。**

**議員（地方）とこども・若者の交流会の実施**

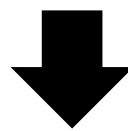
**中高生の主体的な取り組みのプロデュース**

## NPO法人の設立へ

**外部だからこそできること**を

先行的に行う。

- **異学年**での学びあい
- **実践**につなげ、学びを深める。



- 仮想のまちをつくる
- **様々な体験**を通し、よのなかの  
仕組みを学びあう。

## NPO法人の設立へ

外部だからこそできることを

先行的に行う。

いずれ学校でもカリキュラム化したい！

と思うものを、先行してやっていこう！

# 学校とコラボする形で

○ 様々な体験を通し、よのなかの

仕組みを学びあう。

## NPO法人の設立へ

2016年～

**選挙権年齢が18歳以上に**

「越智君の取り組みを全国でも行ってほしい」

2017年～

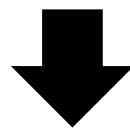
**総務省主権者アドバイザー**

に

## NPO法人の設立へ

### 総務省主権者アドバイザー

- 上がらない投票率
- 進まない若者の社会参加



「仕組み」が変わっても「意識」が変わらないから。

担い手を育てる。こども・若者に寄り添える人を育てる。

担い手を育てる。こども・若者に寄り添える人を育てる。

## 大学生による学び場

- 大学生が、社会のしくみを学び合う教材を研究・開発や実践のための場づくりを行う。
- 高等学校での出張講座を企画。

「先生 - 生徒」「大人 - こども」といった縦の関係ではなく、

**ナナメの関係**を大事にする。

# Wonder Educationの設立へ

## 愛光高等学校での総合的な学習の時間の担当（高2）

### 1学期

#### ルールから見るよのなか

- マナーとルールの違い
- 実際の事件から考える裁判と少年法
- 生きる権利と死ぬ権利

### 2学期

#### 政治から見るよのなか

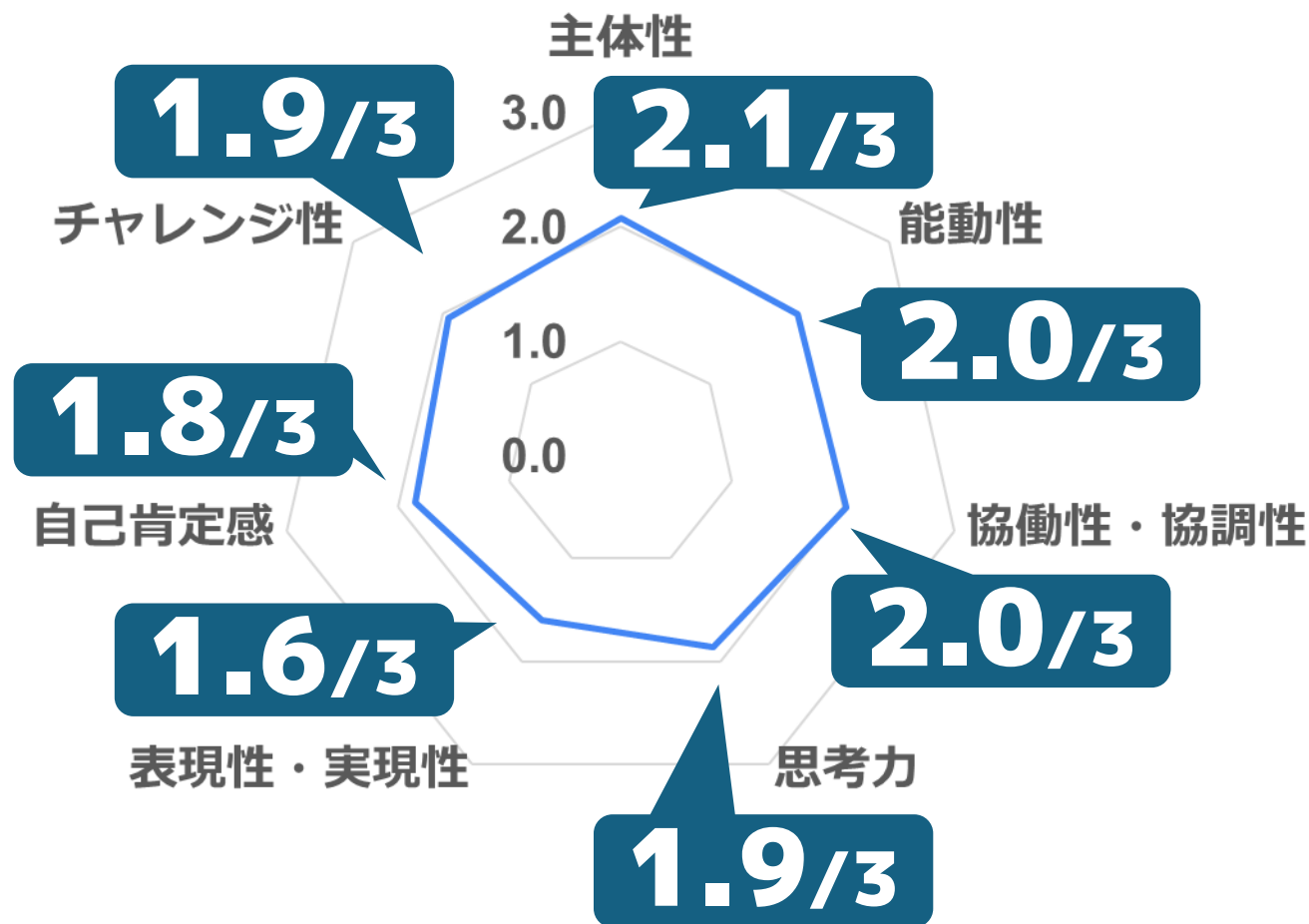
- 学校のルールから考える
- 地域の課題

### 3学期

#### 自分のこれからから考えるよのなか

- 人生曲線を創る
- これからの社会を考えたときに今すべきこと

# 現在の活動 - おもしろく学びあい、みんなで創る



**ゲストを招いた授業は効果的**



**政治的有効感覚** の醸成が、  
こども達の主体性を育む。

**政治的有効感覚**

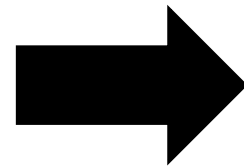
は、

**遊びの中**で育める！

起業体験の  
ワークショップ

実際に  
起業してみた。

ゲームや  
おままごと



実際にやると  
おもしろい。

WE City - 仮想の街イベント

よのなかに、「答え」はない！

**政治的有効感覚** のカギは、

**協働と対話**

## 活動を通して感じていること

社会とは、政治とは、選挙とは…

**社会** 人々が互いに関わり合う場のこと

**政治** 社会の課題を話し合い、解決方法を決めること

**選挙** 政治の代表者を多数決で選ぶこと

# 活動を通して感じていること

社会とは、政治とは、選挙とは…

**社会** 人々が互いに関わり合う場のこと

世界

国

地域

学校

家族  
友達

**政治**

国連

国会

地方  
議会

生徒  
総会

話し  
合い

社会の課題を話し合い、解決方法を決めること

**選挙** 政治の代表者を多数決で選ぶこと

# 活動を通して感じていること

社会とは、政治とは、選挙とは…

## 社会 人々が互いに関わり合う場のこと

身近な社会の

仕組みづくり

を  
するトレーニングが大事

地域

学校

家族  
友達

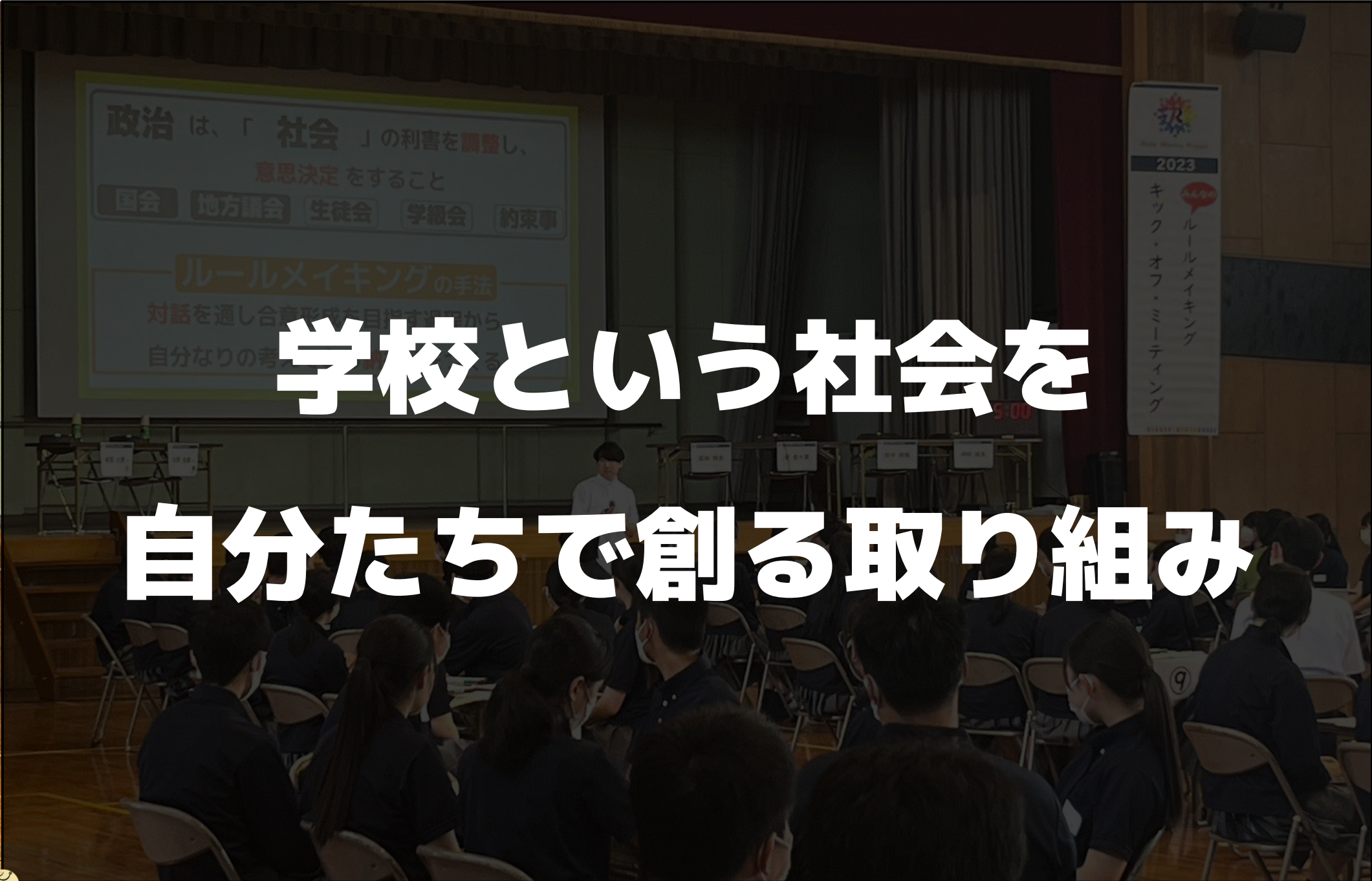
地方  
議会

生徒  
総会

話し  
合い

社会の課題を話し合い、解決方法を決めること

選挙 政治の代表者を多数決で選ぶこと

A photograph of a classroom during a presentation. A large screen at the front displays a slide with Japanese text. The slide includes the title '政治は、「社会」の利害を調整し、意思決定をすること' and lists '国会', '地方議会', '生徒会', '学級会', and '約束事'. Below this, it says 'ルールメイキングの手法' and '対話を通し合意形成を目指す場から自分なりの考'. A teacher is standing at the front, and students are seated at desks, some looking towards the screen. A vertical banner on the right side of the room says '2023 キック・オフ・ミーティング ルールメイキング'.

学校という社会を

自分たちで創る取り組み



# 活動を通して感じていること

こども・若者  
主導で参画

⑧ 活動に大人も巻き込む

⑦ こども・若者主導で活動を実施

⑥ 意思決定にこどもも参画

⑤ こどもの意見提供ある参画

④ 与えられた役割の内容を認識した上での参画

③ 形式的参画

② お飾り参画

① 操り参画

大人  
主導で参画

非参画

協働と対話の中での「効果的な対立」を恐れない。

「政治は、必ずしも自分の思い通りにはならない」  
「でも、参加をすれば意見が反映されるかもしれない」



**「打席に立ち続けること」とその機会があることが大事**

## イベントの振り返りで出た生徒の声

- × どうすれば校則改定をうまく進められるか
- 進路や就職に関する悩みを、  
自分の考えをもとに話せる。

- ・ 自分の将来を見据えられる。
- ・ 自分の意見が認められるからこそ、他人の意見を素直に聞ける。

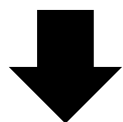
# 政治的有効感覚

がもたらす効果

社会的無気力感は、こどもの“生きる力”をむしばんでいます。

## 社会への参画意識が低い

- 「どうせ何を言っても変わらん」
- 「自分がいてもいなくても一緒」



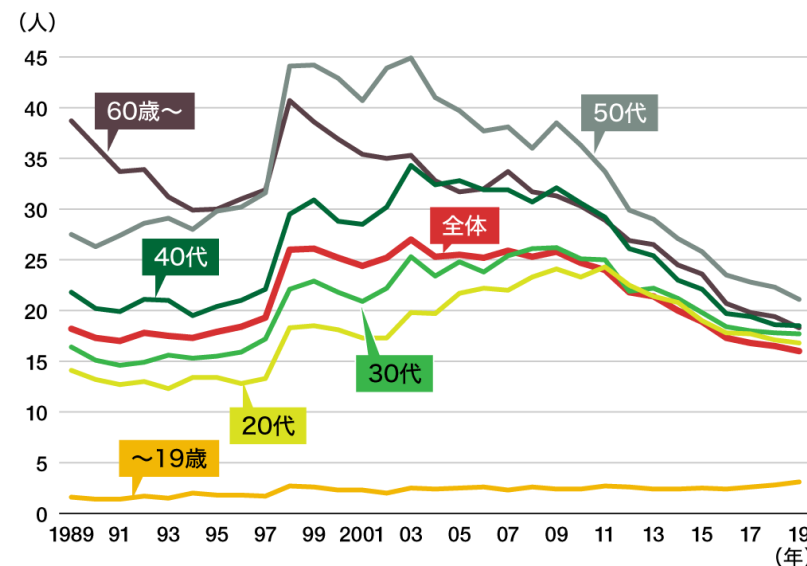
## 自己有用感の低下

(例) 若者の自殺者数は増えている。

15～34歳の若い世代で死因の第1位

が自殺はG7で日本のみ

自殺率の推移(人口10万人当たりの人数)



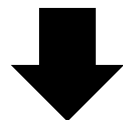
出所：厚生労働省「自殺対策白書」

nippon.com

社会的無気力感は、こどもの“生きる力”をむしばんでいます。

## 社会への参画意識が低い

- 「どうせ何を言っても変わらん」
- 「自分がいてもいなくても一緒」



## 子ども主導の社会参画

社会参画と自己表現を通して、社会で**生きる意味**を知る。

👉 社会を「学ぶきっかけ」へ

**政治的有効感覚**

# 越智が考える **主権者教育** とは？

① よのなかの仕組みを学びあい、みんなでつくる

「 **仲間づくり** 」の教育だ！

② 『なぜ勉強するのか』の答えを探し学び続ける

「 **動機づくり** 」の教育だ！

# 主権者教育を一緒にやりませんか？

**総務省の主権者教育アドバイザーの制度**を使えば、

**無料で**越智がお伺いし、

**講座や講演、長期計画のサポート**をします！

# 主権者教育を一緒にやりませんか？

**総務省の主権者教育アドバイザーの制度**を使えば、

**無料で**越智がお伺いし、

**講座や講演、長期計画のサポート**をします！

- 小中高大学への出張講座
- 今回のような研修会
- 学生主体の啓発団体の支援・協力
- 主権者教育に関する長期計画の策定や実施 など

**要は何でも**

お手伝いさせてください！

連絡先：contact@wonder-education.org / 090-3461-8434（越智）